

# 高座清掃施設組合 令和2年度予算

# ◆◇◆ 一般会計の予算規模 ◆◇◆ 総額 30億7,184万8千円(前年度比26.3%増)

令和2年度の予算について、組合は、次の事項を主たる取組として編成を行いました。

1. ごみ処理施設、水処理施設等の適切な維持管理
2. 本郷ふれあい公園整備事業(第二工区)の推進
3. 旧施設(排水処理施設・粗大ごみ処理施設)の解体撤去

平成25年度に水処理施設(し尿処理施設)、平成30年度にじん芥処理施設(高効率ごみ発電施設、マテリアルリサイクル施設)の更新を行い、更新したごみ処理施設の維持管理は令和元年度から20年間、特別目的会社(以下「SPC」という。)が行うよう、管理機能を移行しました。処理施設更新事業に伴う組合周辺の環境整備は、本郷ふれあい公園整備事業(第一工区)が令和元年度秋に供用開始し、第二工区の整備を推進しています。

旧施設(排水処理施設・粗大ごみ処理施設)の解体撤去については、処理施設更新等により借り入れた地方債等の償還の状況を鑑み、滞りなく解体撤去を計画的に推進できるよう取り組むとともに、引き続き積極的な国費等の獲得による財源の確保を図り経費の節減に努めるものとします。

組合の運営経費の多くは、構成三市民の税金が充てられていることを認識し、創意と工夫により財源の捻出に努め経費の節減に取り組みました。

職員一人ひとりが、組合運営の当事者であることを自覚した上で責任感を持ち、果たすべき役割を真摯に全うします。施設の維持保全、安全対策に十分留意し、適正な運営を念頭に必要となる業務の経費を精査し、予算計上しました。

## ○予算規模について

令和2年度一般会計当初予算の予算規模は、30億7,184万8千円(対前年度6億3,944万9千円・26.3%の増額)となりました。主たる増額理由は、旧施設解体、ごみ処理施設建設事業に伴う組合債の元金償還開始によるものです。

## ○当初予算の概要

令和2年度当初予算は、SPCへのごみ処理施設の管理・運営委託費のほか、水処理施設、最終処分場の管理運営費を計上しました。

また、本郷ふれあい公園整備事業(第二工区)として、用地取得費を計上したほか、屋内温水プール等の維持管理費及び旧施設(排水処理施設・粗大ごみ処理施設)の解体費用を計上しました。

## ○一般会計歳入予算の状況

分担金16億8,142万4千円は、対前年度2億5,267万7千円(17.7%)の増額となりました。

使用料及び手数料4億3,518万1千円は、事業系一般廃棄物増加に伴い処理手数料が増額したため、対前年度3,551万円(8.9%)の増額となりました。

国庫支出金1億6,048万1千円は、本郷ふれあい公園整備事業の進捗により対前年度921万7千円(5.4%)の減額となりました。

県支出金633万6千円も、本郷ふれあい公園整備事業の進捗により対前年度1,131万9千円(64.1%)の減額となりました。

財産収入62万円は公用車売払いにより増額となりました。

繰越金3億円は、対前年度1億円(50.0%)の増額となりました。

組合債4億8,760万円は、旧施設(排水処理施設・粗大ごみ処理施設)の解体に充てる衛生債3億2,170万円で、本郷ふれあい公園整備に充てる土木債1億6,590万円は、事業の進捗により対前年度5,030万円の減額となりました。組合債全体では、対前年度2億7,140万円(125.5%)の増額となりました。

## ○一般会計歳出予算の状況

総務費4億5,081万円は、対前年度8,677万9千円(23.8%)の増額となりました。増額した主な理由は、一般管理費4億2,063万6千円において、ごみ処理施設完成により海老名市への交付金となる固定資産税相当分増加に伴い対前年度1億959万4千円(35.2%)の増額、企画費において、前年度、ごみ処理施設更新に伴う生活環境影響事後調査業務及び旧施設解体予備調査業務完了に伴い対前年度1,856万円の減額となりました。

衛生費17億7,771万3千円は、対前年度4億6,249万1千円(35.2%)の増額となりました。増額した主な理由は、塵芥処理費13億4,914万3千円において、排水処理施設・粗大ごみ処理施設解体工事及びSPCによるごみ処理施設の運転・維持管理費用が灰処理量の増加に伴い対前年度4億8,822万1千円(56.7%)増額したことによるものです。

土木費3億5,471万8千円は、前年度、第一工区の整備工事完了に伴い対前年度6,724万8千円(15.9%)の減額となりました。

公債費3億2,779万8千円は、ごみ処理施設建設事業及び周辺環境整備事業に伴う償還金の増額により、対前年度1億7,290万3千円(111.6%)の増額となりました。

科 目	令和2年度		令和元年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
1 分担金及び負担金	1,681,424	54.7%	1,428,747	58.7%	252,677	17.7%
2 使用料及び手数料	435,181	14.2%	399,671	16.4%	35,510	8.9%
3 国庫支出金	160,481	5.2%	169,698	7.0%	△9,217	△5.4%
4 県支出金	6,336	0.2%	17,655	0.7%	△11,319	△64.1%
5 財産収入	620	0.1%	0	0.0%	620	皆増
6 繰越金	300,000	9.7%	200,000	8.2%	100,000	50.0%
7 諸収入	206	0.1%	428	0.1%	△222	△51.9%
8 組合債	487,600	15.8%	216,200	8.9%	271,400	125.5%
歳入合計	3,071,848	100.0%	2,432,399	100.0%	639,449	26.3%

科 目	令和2年度		令和元年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
1 議会費	1,171	0.1%	1,220	0.1%	△49	△4.0%
2 総務費	450,810	14.7%	364,031	15.0%	86,779	23.8%
3 民生費	27,556	0.9%	24,630	1.0%	2,926	11.9%
4 衛生費	1,777,713	57.9%	1,315,222	54.1%	462,491	35.2%
5 土木費	354,718	11.5%	421,966	17.3%	△67,248	△15.9%
6 教育費	102,082	3.3%	120,435	4.9%	△18,353	△15.2%
7 公債費	327,798	10.6%	154,895	6.4%	172,903	111.6%
8 予備費	30,000	1.0%	30,000	1.2%	0	0.0%
歳出合計	3,071,848	100.0%	2,432,399	100.0%	639,449	26.3%

# 令和元年度 一般会計予算執行状況

令和元年度高座清掃施設組合の当初予算は、24億3,239万9千円でしたが、補正及び前年度繰越額を加え28億3,687万1,600円となりました。

○歳入予算の執行状況について

歳入予算の予算現額に対する令和2年3月31日現在の執行状況は、予算現額に対し97.9%・27億7,853万813円となっています。

なお、令和元年9月発生の火災に伴う火災保険料及び事業系一般廃棄物処理手数料等、令和2年3月31日現在未収入のものは、出納整理期間に収入される見込みです。

○歳出予算の執行状況について

歳出予算の予算現額に対する令和2年3月31日現在の執行状況は、61.4%・17億4,297万7,855円となっています。3月末において執行率が低いものの主な理由として、衛生費は、SPCへの委託料（第4期分）分の支出によるものです。

なお、教育費の屋内温水プール特定天井撤去工事は令和2年度に繰越しています。

歳入 (令和2年3月31日現在) (単位：円)

科目	当初予算額	補正予算額等	継続費等繰越 財源充当額	予算現額 A	収入済額 B	執行率 B/A (%)
1 分担金及び負担金	1,428,747,000	△ 10,000,000	0	1,418,747,000	1,418,747,000	100.0
2 使用料及び手数料	399,671,000	0	0	399,671,000	415,452,550	103.9
3 国庫支出金	169,698,000	0	0	169,698,000	169,490,000	99.9
4 県支出金	17,655,000	0	0	17,655,000	17,830,000	101.0
5 繰越金	200,000,000	395,207,000	19,265,600	614,472,600	614,473,189	100.0
6 諸収入	428,000	0	0	428,000	2,638,074	616.4
7 組合債	216,200,000	0	0	216,200,000	139,900,000	64.7
歳入合計	2,432,399,000	385,207,000	19,265,600	2,836,871,600	2,778,530,813	97.9

歳出 (令和2年3月31日現在) (単位：円)

科目	当初予算額	補正予算額等	継続費等繰越 財源充当額	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A (%)
1 議会費	1,220,000	0	0	1,220,000	1,024,875	84.0
2 総務費	364,031,000	△ 20,575,000	0	343,456,000	279,987,404	81.5
3 民生費	24,630,000	0	0	24,630,000	22,209,191	90.2
4 衛生費	1,315,222,000	41,751,000	0	1,356,973,000	884,365,313	65.2
5 土木費	421,966,000	0	19,265,600	441,231,600	331,869,227	75.2
6 教育費	120,435,000	70,246,000	0	190,681,000	78,806,448	41.3
7 公債費	154,895,000	0	0	154,895,000	144,715,397	93.4
8 予備費	30,000,000	293,785,000	0	323,785,000	0	0.0
歳出合計	2,432,399,000	385,207,000	19,265,600	2,836,871,600	1,742,977,855	61.4

○組合債現在高 (単位：円)

事業	令和元年9月30日	令和元年10月1日～令和2年3月31日		令和2年3月31日
	現在高	借入額	元金償還額	現在高
一般廃棄物処理事業債	9,245,681,045	0	20,631,599	9,225,049,446
一般補助施設整備等事業債	1,403,300,000	0	0	1,403,300,000
公共事業等債	149,827,663	99,700,000	3,891,439	245,636,224
一般事業債	154,563,500	28,600,000	4,284,500	178,879,000
地方道路等整備事業債	20,783,000	0	717,000	20,066,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	1,040,947,222	11,600,000	70,571,402	981,975,820
合計	12,015,102,430	139,900,000	100,095,940	12,054,906,490

周辺環境整備事業に伴い令和元年度に借り入れた内訳は、公共事業等債1件、一般事業債1件、神奈川県市町村振興資金貸付金2件となりました。これにより借入件数は、一般廃棄物処理事業債11件、一般補助施設整備等事業債3件、公共事業等債4件、一般事業債7件、地方道路等整備事業債1件、神奈川県市町村振興資金貸付金14件の計40件となりました。組合債現在高は、120億5,490万6,490円となりました。

○財産 (令和2年3月31日現在) (単位：㎡)

区分	土地	建物
清掃処理場	56,871.83	33,079.77
老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,137.71	453.23
本郷ふれあい公園	11,278.50	27.62
合計	75,880.51	34,339.71

令和元年度の財産の移動について、土地は、本郷ふれあい公園用地の一部を売却したことにより、前年度比較で4.92㎡の減となりました。

建物については、本郷ふれあい公園に設置したトイレにより、前年度比較で27.62㎡の増となりました。

○本郷老人福祉センター

	令和元年度		平成30年度		比較	
	利用者数	利用割合	利用者数	利用割合	増減	伸率
海老名市	3,477人	52.3%	4,066人	54.5%	△ 589人	△ 14.5%
座間市	1,099人	16.5%	1,273人	17.1%	△ 174人	△ 13.7%
綾瀬市	2,074人	31.2%	2,117人	28.4%	△ 43人	△ 2.0%
合計	6,650人	100.0%	7,456人	100.0%	△ 806人	△ 10.8%

○高座施設組合屋内温水プール

	令和元年度		平成30年度		比較	
	利用者数	利用割合	利用者数	利用割合	増減	伸率
男性	51,380人	52.3%	75,993人	52.3%	△ 24,613人	△ 32.4%
女性	46,772人	47.7%	69,176人	47.7%	△ 22,404人	△ 32.4%
合計	98,152人	100.0%	145,169人	100.0%	△ 47,017人	△ 32.4%

令和元年度における余熱利用施設の利用状況は、本郷老人福祉センターが6,650人（対前年度10.8%・806人の減）、高座施設組合屋内温水プールは98,152人（対前年度32.4%・47,017人の減）となりました。

なお、本郷老人福祉センターは、新型コロナウイルスに伴い3月3日から、屋内温水プールは、吊り天井改修に伴い10月30日から休館しています。